

代表質問

6会派の代表が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

公明党

23年度予算編成方針

問 予算編成の特徴は。

答 平成23年度予算は、高齢者向けの地域優良賃貸住宅制度のほか、自転車先進都市おかやま事業、コールセンター等立地促進の補助制度創設など、今後の発展に向けた事業を盛り込んでいる。

また、岡山操車場跡地整備基本計画の策定など、まちづくりの姿を具体化する事業や、岡山の未来を若者たちが語る「若者広場（仮称）」の実施など、将来を見据え、総合的な視点からつくり上げている。

視覚障がい者に対する広報

問 点字等による広報の希望者数は。視覚障がい者へ積極的な広報をすべきでは。

答 平成23年2月1日時点で、点字広報希望者は86人、音声広報のCD版が31人、カセットテープ版が50人である。これまでも点字や音声広報については、「くらしの便利帳」や「障害者のしおり」などでお知らせしている。今後も「市民のひろばおかやま」などを通じて、積極的にPRし、周知を図っていく。

高齢者の介護施設を整備

問 介護施設の整備方針は。

答 特別養護老人ホームの入所待機者の現状から、平成23年度は9施設を整備し、21年度から23年度で、特別養護老人ホーム、グループホーム、老人保健施設など計777床の整備を行うこととしている。給付と負担のバランスを考慮し、より多くの方が入所できるよう検討したい。

旧深柢小学校跡地活用の考え方

問 平成18年2月、岡山中央南(旧深柢)小学校跡地活用懇談会による提言の3つの柱①地域特性②安全・安心③地域コミュニティ、に沿って進めるべきだが、市と川崎学園の考え方は。

答 市としては、①交通利便性を生かし、表町商店街などにぎわい回復につなげることが必要②健康・医療・福祉機能の導入、防災上の観点での配慮、交通弱者にやさしいまちづくり、ユニバーサルデザイン導入が必要③地域の人々が集い、交流できる場が必要、などと考えている。

川崎学園は、①1日約4,000人の出入りを想定しており、にぎわい創出や経済波及効果に期待②年中無休、昼夜診療で救急患者を積極的に受け入れ、質の高

い医療や迅速な初期医療の提供③敷地内に地域住民が利用可能な集会施設を併設する、などとしている。

市と川崎学園の考え方に、大きな隔たりはないと考える。

東区役所・東消防署等の整備

問 整備が進むことは歓迎するが、なぜ、このタイミングか。

答 老朽化や耐震性、消防力の強化のため、建て替えが急がれていた東消防署の検討を進めながら、同様にバリアフリー等多くの問題を抱えている東区役所についても関係部局間で議論を進めた。

その結果、地元が望むカネボウ跡地活用につながり、防災拠点として一体的に整備することで一層の体制強化が図られる。合築によるスケールメリットや建設コストの低減、有利な財源の活用等、効率性や財政的な優位性から整備方針を決定した。



移転予定の東区役所（左）・東消防署（右）

政隆会

「国連ESD10年・総括会議」誘致に向けた取り組み

問 平成26年に開催される会議の岡山への誘致に関し、23年度

の具体的な取り組みは。

答 候補地は、23年夏までにユネスコ本部と本会議を共催する日本政府が選定する予定で、既

に関係省庁や県関係国会議員等に働き掛けを行っている。今後も関係省庁に対し、本市がアクセス性に優れていることや、市民をはじめさまざまな組織がESD活動に取り組んできた実績

／用語解説 ※2 ESD（持続可能な開発のための教育）

「わが国における『ESDの10年』実施計画」では、「一人ひとりが、世界の人々や将来世代、また環境との関係性の中で生きていることを認識し、行動を変革するための教育」と定義

があること、市内小・中学校のユネスコスクールへの加盟拡大に意欲的に取り組む熱意があることなどをアピールしたい。

アンケートを活用し

児童クラブの負担を軽減

問 児童クラブについてのアンケート結果から、どう課題を整理したのか。また今後の方針は。

答 各児童クラブ関係者の負担軽減のため、平成22年にアンケートを実施した結果、開設日、開設時間、障がいのある児童の受け入れ、事故が起きたときの責任問題などの課題が浮き彫りとなった。

課題解決に向けて、運営実態に応じた補助制度の見直しや土曜日開設の促進、障がいのある児童の受け入れ支援などを23年度予算案に反映している。

操車場跡地整備のコンセプト

問 県内外から注目されるような跡地活用とするために考えていることは。

答 本市の特徴と資産を生かしたテーマ性を持った拠点づくりとして、健康や食に関するイベントや市の開催、若者をターゲットにしたエンターテインメント性のあるイベントの展開などを検討している。

また、全体を都市の森というコンセプトで整備を行い、統一感のある管理・運営をしていくことも必要である。市や市民、民間事業者等と連携・協働してつくり上げていくエリアマネジメントの仕組みづくり等、新しい公園づくりのモデルとしても注目されるものを考えたい。

区役所の整備方針

問 区役所整備について①南区役所のスケジュールは。②中区役所の方針も示すべきでは。

答 ①平成22年度に実施した地質調査を踏まえ、23年度は実施設計を行う予定である。24年度以降は、造成工事、建築工事等に順次着手し、26年度の早い時期の開設を目指す。②早急な方針の整理が必要と認識しており、できるだけ早期に方向性を示したい。



南区役所整備予定地（南区浦安南町地内）

ゆうあいクラブ

西部リサイクルプラザ整備後の影響

問 西部リサイクルプラザが整備された後、野殿ストックヤードや新保資源選別所はどうなるのか。

答 西部リサイクルプラザは、市民からの粗大ごみの受け入れ処理や、びん・ペットボトルの選別処理を行うこととしており、野殿ストックヤード及び新保資源選別所の機能も備えていることから、西部リサイクルプ

ラザが稼働した後は廃止する予定である。

市営住宅さくら住座の再整備

問 建て替え再整備に合わせて併設する施設は。

答 例えば、小規模多機能型居宅介護事業所等の高齢者支援を目的とする福祉施設や食料品店等の生活利便系施設など、民間活力による整備を考えている。

水道管の耐震化対策

問 阪神・淡路大震災のときに被害を免れたダクタイル（球状黒鉛）鋳鉄管が耐震用として注目されているが、本市での採用状況は。

答 阪神・淡路大震災を契機に、平成9年からダクタイル鋳鉄管を採用している。特に地震等の災害時に、液状化が予想される地域には口径200ミリメートル以上の水道管に、地盤が安

定した地域には口径400ミリメートル以上の幹線水道管に採用している。本市の水道管の耐震化率は5.7%であるが、400ミリメートル以上の幹線水道管の耐震化率は23.3%である。

19年からは基本的にダクタイル鋳鉄管による取り換えを行い、水道管の一層の耐震性向上を図っている。

バイオディーゼル燃料の現状

問 バイオディーゼル燃料（BDF）の普及促進の状況は。

答 平成22年度の使用済み天ぷら油の回収見込み量は、21年度に比べ、家庭系が15%増の130キロリットル、事業系が70%増の283キロリットルである。

利用量は、23年1月末で市のごみ収集車87台に239キロリットル、民間事業者の車両23台に25キロリットルとなっている。

23年2月から廃食用油回収及び



西部リサイクルプラザ整備予定地（北区野殿西町地内）

BDF使用の事業者に対し、推進協力店認定書及びステッカーを交付するなど、啓発及びリサイクル体制を強化している。

**生活保護世帯等に係る
査察指導機能充実と就労支援**

問 ①査察指導機能の充実とはどういうことか。②生活保護世帯等の増加に歯どめをかけるため、就労保障の充実強化が必要では。

答 ①生活福祉係を増設し、係長職である査察指導員を増員することで、ケースワーカーへの助言指導体制を強化する。②ハローワークのOB等、職業相談

業務の経験者である就労支援相談員を活用し、ハローワークと連携し、就労支援事業に取り組んでおり、平成23年度には、よりきめ細かな支援の実施に向けて、就労支援相談員を現在の3名から6名に増員する予定である。

市民ネット

ファジアーノ岡山への支援

問 練習場に充てられる市有地はあるのか。また、市のプランを出す等の具体的な動きはいつ頃か。

答 市有地や県有地、民間所有地を含めて検討し、ある程度候補地を絞り込み、協議・調整を進めているが、整備場所の決定には至っていない。

今後、さらに協議・調整を急ぎ、できるだけ早い時期に場所を決定し、補正予算での対応も念頭に置きながら、整備の早期実現を目指したい。

学校での平和教育

問 学校教育の中での系統的な取り組みの実態は。

答 国語では、東京大空襲をテーマとした「ちいちゃんのかげおくり」など、平和について心情面から学ぶ教材が学年ごとに準備され、平和の尊さ、戦争



がんばれ！ファジアーノ岡山

の悲惨さについて学んでいる。

また、社会科では、小学校6年生及び中学校の歴史的・公民的分野で平和について理解を図っている。

学習を進める際には、岡山空襲に関するDVD、岡山空襲平和資料館やデジタルミュージアムの活用、戦没者追悼式への参加、語り部の方に直接話を聞くことなどを行っている。

農業委員会への女性参画

問 女性農業者の枠を設けることについての課題と狙いは。

答 女性の農業委員について、全国農業委員会会長大会では、

「1委員会当たり複数」を」との目標を掲げているが、岡山県は全国最下位、本市には現在1人もいない。

女性が委員になることで、地産地消や農業の六次産業化の推進等の取り組みが図られ、農業振興につながるものと期待している。

観光戦略と公共交通

問 観光戦略でも、交通導線の整備が大前提であり、この観点での取り組みは。

答 本市には、魅力的な観光資源が多く存在しており、都市交通戦略を進めるには、公共交通をはじめとする交通ネットワークを強化し、線や面として、観光資源の有機的連携を高めていく視点も重要である。

この観点から、おかやま都市交通戦略連携会議において、吉備線LR T化を契機とした吉備路観光活性化をテーマの一つとし、検討を深めようとしている。

共産党

予算案を修正し国民健康保険料の引き下げ等を

問 市民の暮らしを守る施策として、土地開発基金の取り崩しや議員報酬削減等で18億円の財源を確保し、国民健康保険料の引き下げ等を実施すべきでは。

答 本提案は、今後、継続的な

財源確保の課題もあり、慎重な検討が必要と考えている。

市民生活を守るための施策としては、安全・安心の確保のための事業、緊急雇用対策、市内中小企業対策のための単市公共事業の確保、国民健康保険料の据え置き等を行っており、また、

新たに小修繕業者の登録制度の導入も図る。

交通弱者の生活交通確保を

問 生活交通対策は喫緊の課題であるが、その解決策は。

答 交通不便地域での生活交通の確保には、実態に合ったサービスの提供と地域の生活交通を支える協力体制を両輪とした、自律的で持続可能な生活交通確

用語解説 ※3 六次産業化

農畜産物の生産（一次）だけでなく、食品加工（二次）、流通・販売等（三次）にも農業者が主体的かつ総合的にかかわること、第二次・三次産業事業者が得ていた付加価値を農業者が得ようとする取り組み。一次×二次×三次＝六次産業

保策を検討する必要がある。

平成22年度は、御津・建部・足守の3地域で試行的な調査を行った。今後、調査結果の分析を進め、生活交通をいかに支えるかなどについて地元組織と議論する。

住宅リフォーム助成の実施を

問 岡山市の経済を元気にするために、住宅リフォームへの助成をしては。

答 現下の厳しい経済状況を踏まえ、他都市の状況も調べなが

ら前向きに検討したい。

政令市初のがん対策推進条例制定

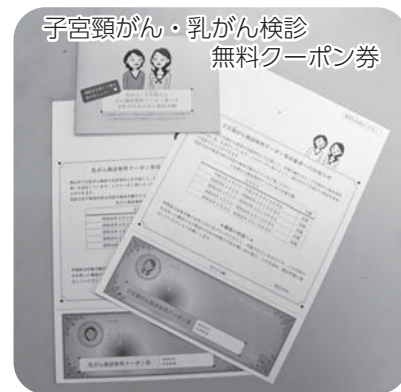
問 がん対策としての予算は。

また、検診の受診率向上への取り組みは。

答 平成23年1月から実施している子宮頸がん予防ワクチン事業を、23年度も約5億円の予算で引き続き実施する。

さらに、これまでの女性特有がんの無料クーポン事業に加え、働く世代への大腸がん検診推進事業として、新たに7,800

万円を計上し、節目年齢の方に無料クーポンを送付して受診率の向上を目指す。



新風会

行財政改革の成果

問 行財政改革の成果を未来の市民への投資に向けるべきでは。

答 市民福祉の向上のための取り組みや将来を見据えた必要な施策に投資していく。

岡山操車場跡地整備基本構想

問 今回の構想は歴代の市長の構想と変わらないように思えるが、過去の構想との違いは。

答 平成2年に岡山チボリ公園計画による都市計画決定後、「岡山水と芸術の公園」「サッカーもできる球技場を核とした公園」など20年間にさまざまな計画が示されたが、ドームを除いては事業化に至っていない。

岡山操車場跡地の大部分は都市計画決定された公園で、土地利用に一定の制約を受けるため、基本部分は都市公園という



にぎわいの創出が期待される岡山操車場跡地

共通点がある。

今回の計画は、都市ビジョンに基づいて本市の目指す都市像のシンボルとなるような活用を目指している。

倉敷市との連携

問 連携は極めて重要である。両市間の調整は。本市が積極的にリードする役割があるのでは。

答 平成15年に両市の副市長・担当部局長を構成メンバーとする岡山・倉敷まちづくり協議会を設置し、市域を越えた保育所への入所、共同観光パンフレットの作成など、行政サービスの相互間交流等の成果をあげた。

22年度には岡山・倉敷・吉備路観光キャンペーンを初めて合同で実施し、観光施設への来客や旅行商品の売り上げ増加につながった。

今後、おかやま桃太郎まつり等のイベントに加え、吉備路観光でも、大きな効果を得る企画が可能か探りたい。

若者の就労支援

問 本市は3年間職員採用を凍結したが、若者に就労の門戸を開き、地元企業等の長期

的雇用につながる施策を講じるべきでは。

答 人件費の削減はやむを得ないと判断しているが、平成23年4月1日の採用者は186人の予定で、行財政改革を進めながら必要な職員は採用していく。

本市は22年度から地域人材育成事業を行っており、今春も卒業後の未就職者を含めた若年者に対する事業を実施し、地元企業にも採用枠拡大の協力をお願いしたい。

救急病院が不足している

中区・東区への対応は

問 (仮称)岡山総合医療センターの建設で旭川以西の救急医療体制はさらに充実するが、旭川以東の中区・東区は総合・救急病院が明らかに不足している。その対応は。

答 現在、二次救急である病院群輪番制病院は6カ所すべてが旭川以西にあるが、救急告示病院は東区2カ所、中区3カ所である。

本市は県南東部保健医療圏に含まれるが、今後、県や医療機関等と連携しながら救急医療を含めた医療連携体制の整備に取り組みたい。

用語解説 ※4 二次救急(医療体制)

手術や入院を要する救急患者に対応する医療

※5 病院群輪番制

病院が相互に連携し、休日又は夜間を輪番で担当することにより、重症救急患者の医療を確保するための診療を行う制度